

蟹の泡吹き エビのつぶやき

…その多様性を探る…

*Heikea japonica* ハイケガニ

2000年

7月8日[土]



10月1日[日]

Explore the Diversity of Crustaceans
—Miraculous Functions in Fabulous Shapes—

◆7月16日（日）記念シンポジウム 午後1時30分～3時30分

「甲殻類の多様性を探る」（内容：基調講演・パネルディスカッション）

パネラー：武田正倫氏（国立科学博物館動物研究部長）

菊地義昭氏（茨城大学理学部助教授）

坂田 明氏（サックス奏者・広島大学水畜産学部水産学科卒業）

コーディネーター：中川志郎館長（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

◆7月16日（日）ミュージアムコンサート 午後5時30分～6時30分

「スケルトンとプランクトン～中生代から現代へ～」

～夏の夜を音でたどるはるかな時の彼方～

出演：坂田 明氏（サックス・クラリネット）／フェビアン・レザ・バネ氏（ピアノ）

◆8月6日（日）記念講座 「ざりがに'から学ぼう身近な自然」 午後1時～3時

講師：斎藤和範氏（旭川大学非常勤講師）

※上記のイベントは、全て事前申込制となっております。

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 大人 720円 (580円)

高・大生 440円 (300円)

小・中生 140円 (70円)

後援 大洗水族館

茨城県自然博物館友の会

※()は20名以上の団体料金です。

※65歳以上・障害者手帳持参の方は入館無料です。

※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。

※第2・第4土曜日は、小・中・高校生は入館無料となります。

(但し、夏休み期間は除く。)

写真：姫路市立水族館

次回企画展

結晶はいきている－生きものと鉱物のふしぎな関係－(仮称)

2000年10月21日[土]～2001年1月14日[日]

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館



〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000

ハローダイヤルいばらき 029-226-8600 #8886 (ブッシュ回線)

ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

古紙配合率40%再生紙を使用しています。

第19回企画展

蟹の泡吹き エビのつぶやき

…その多様性を探る…

Explore the Diversity of Crustaceans —Miraculous Functions in Fabulous Shapes—



イセエビ



ホンヤドカリ



タカアシガニ



メスに求愛のウェービングをするオキナワハクセンシオマネキのオス
写真：亀田龍吉／ネイチャー・プロダクション

私たちにとって、とても身近な存在であるエビとカニ。磯遊びの中で、あるいは食卓や民話の中で、誰もが一度はお目にかかったことがあるでしょう。そんなエビとカニは節足動物の中の「甲殻類」というグループに属しています。

現在、甲殻類は知られているだけでも5万種以上が地球上の様々な場所に生息しており、微小なミジンコのなかから、大型のエビやカニのなかまに至るまで、その形態や生態は実に多様性に富んでいます。

今回の企画展では、エビやカニを中心に様々な環境に適応した甲殻類の多様な姿にスポットを当て、甲殻類の分類から生態、さらに県内に生息するエビ・カニ類、人との関わりなどを紹介します。身近な生き物たちを通して、自然を再確認し、生物の多様性を保つとはどういうことなのか、いつしょに考えてみませんか。



アメリカカブトエビ



ニセゾウミジンコ



オカダンゴムシ

主な展示内容

- エビ・カニの王者 一タカアシガニー
博物館のタカアシガニはどこから来たの？
- エビ・カニのなかまたち
エビ・カニはどんな動物？／エビ・カニとそのなかまたち
- 多様な生息環境
深海から高山まで／茨城のエビ・カニ類
- 進化と適応
生きるための戦略／子孫を残すための戦略
- 人とのかかわり
収集から研究まで／エビ・カニからの恩恵／文化としてのエビ・カニ／多様性を保つことの意味
- 観察・体験コーナー
ミニアクアリウム／体験してみよう



●車利用の場合
常磐自動車道谷和原I.C.から20分

●鉄道・バス利用の場合

JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線愛宕駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分